



マツリダワルツ'19

牝 鹿毛 2019.3.8 生 入厩予定 美浦・小島茂之厩舎 生産牧場 様似・様似堀牧場
 総額：1,800万円 一口出資金：36,000円 募集：500口

本馬の特徴

今なお存在感を示す全兄ロードクエストは重賞3勝の他にNHKマイルC 2着。3億円超の賞金を獲得しています。ケイアイファームが手掛けた母の産駒が堅実に勝利を挙げる点も強調材料。勿論、管理予定はノウハウを知り尽くす小島茂之厩舎です。改めてマツリダゴッホとの配合で誕生した本馬は、小柄でも骨格はしっかり。前向きな気性を含め、いつもの母の仔らしい雰囲気漂っています。

Pedigree

マツリダゴッホ 鹿毛 2003	Sunday Silence *サンデーサイレンス 青鹿毛 1986	Halo	<i>Hail to Reason</i> Cosmah
		Wishing Well	Understanding Mountain Flower
	Paper Rain *ペーパーレイン 栗毛 1991	Bel Bolide	Bold Bidder Lady Graustark
		*フローラルマジック	Affirmed Rare Lady
マツリダワルツ 栗毛 2004	Chief Bearhart *チーフベアハート 栗毛 1993	Chief's Crown	Danzig Six Crowns
		Amelia Bearhart	Bold Hour Myrtlewood Lass
	ユキノワルツ 鹿毛 1993	*リアルシャダイ	Roberto Desert Vixen
		ダイナクレアー	*ノーザンテースト *クレアーブリッジ

●Hail to Reason S4×M5 ●Bold Ruler S5×M5 ●Northern Dancer M5×M5 F13-c



Family

母 マツリダワルツ 《産駒7頭：出走7頭：勝馬6頭》

(公) 7勝、ひまわり賞、岩手ダービーダイヤモンドC2着、ビューチフル・ドリーマーC2着、不來方賞2着、日高賞2着、白菊賞3着 [勝ち距離1000m～2400m]

マツリダノブ (11 牡 鹿 マツリダゴッホ) (公) 4勝

ビップヘラクレス (12 牡 栗 *フォーティナイナーズサン) 入着、(公) 1勝

ロードクエスト (13 牡 鹿 マツリダゴッホ) 4勝、スワンS-G2 (芝1400m)、新潟2歳S-G3 (芝1600m)、京成杯オータムH-G3 (芝1600m)、NHKマイルC-G12着、ホープフルS-G22着、パラダイスS-OP2着、スプリングS-G23着、カーバンクルS-OP3着 【現】

ヴァルツァー (14 牝 栗 ジングルポケット) 1勝

ロードトレジャー (15 牡 鹿 *プリササイズエンド) 1勝

スティルネス (16 牝 鹿 ゴールドヘイロー) 1勝、新潟2歳S-G33着 【現】



祖母 ユキノワルツ

(公) 5勝

フェルマータ (牝 *テンビー) 1勝、コスモス賞-OP3着

曾祖母 ダイナクレアー

1勝

ゲンパチミラル：3勝、喜多方特別、知多特別

四代母 *クレアーブリッジClare Bridge

米国産、米入着

サクラクレアー：2勝、4歳牝馬特別・東京-G22着

サクラチトセオー：JRA最優秀4歳以上牡馬、9勝、天皇賞・秋-G1、アメリカジョッキークラブC-G2、中山記念-G2、京王杯オータムH-G3、富士S-OP、メトロポリタンS-OP、テレビ埼玉杯、ひいらぎ賞、安田記念-G12着、中山記念-G22着、有馬記念-G13着、NHK杯-G23着 種牡馬

サクラキャンドル：5勝、エリザベス女王杯-G1、府中牝馬S-G3、クイーンS-G3

サクラヤマトオー：4勝、ホープフルS-OP、府中3歳S-OP、アイビーS-OP、オールカマー-G32着

サクラプレステージ：3勝、UHB杯-OP3着

サクラドルチェ：3勝、摂津特別、檜原湖特別

サクラブレジール：2勝、フラワーC-G3

サクラメガ：不出走

サクラメガワンダー：7勝、金鯱賞-G2、鳴尾記念-G3 (2回)、ラジオたんぱ杯2歳S-G3、カシオペアS-OP、エリカ賞、宝塚記念-G12着、京都記念-G22着 種牡馬

サクラアンブルール：4勝、札幌記念-G2、美浦S、鹿野山特別、中山記念-G22着、函館記念-G32着、白富士S-OP2着、日経賞-G23着 (2回)、(公) 2勝

クレアーナイト：3勝、猪苗代特別、(公) 1勝

血統解説

スワンSなど重賞3勝を挙げているロードクエストの全妹。母の産駒のJRA勝ち馬4頭は全てが2歳8月までの1200～1800m戦で勝ち上がっています。マツリダゴッホ自身は有馬記念を勝った中長距離タイプですが、産駒の勝利の約57%が1400m以下のもの。牝馬だとその比率は66%とさらに高まっています。現2

歳世代からもリンゴアメが函館2歳S、ウインアグライアがコスモス賞を勝ったように、未だ健在。本馬は兄妹の走りを見ると、同様に1200～1800mを活躍の場とする可能性が高いですが、母系にリアルシャダイやノーザンテーストなど長距離適性のある種牡馬が入ることから、中距離タイプに出ることもあるでしょう。



Ability



Sire MATSURIDA GOGH 詳細 ▶ P92
マツリダゴッホ (静内産)

Broodmare Sire CHIEF BEARHART 詳細 ▶ P96
チーフベアハート (加国産)